

第2学年 音楽科学習指導案

日 時 令和元年10月10日(木)

場 所 ひびきあいホール

児 童 第2学年 男9名 女12名 計21名

指導者 三浦 てるみ

- 1 題材名 「わらべうたを歌ったり伴奏を作ったりしながら、わらべうたの面白さをみつけよう」
教材名 「ずいずいずっころぼし」「あんたがた どこさ」「なべなべ そこぬけ」(わらべうた)

2 題材の目標

- (1) わらべうたの旋律やリズムを聴き取り、音の組み合わせが生み出す面白さを感じ取りながら、つなぐ音を試し、どのような伴奏をつくるかについて思いをもつ。【思・判・表】
- (2) わらべうたの旋律とリズム、フレーズと音の重なりとの関わりについて気付くとともに、わらべうたを表現するために必要な歌唱、伴奏づくりの技能を身に付けるようにする。【知・技】
- (3) わらべうたの独特の響きやなじみやすいリズムや旋律に関心を持ち、歌ったり伴奏をつくったりする学習に楽しんで取り組む。【態】

3 題材設定の理由

(1) 題材について

本題材は、新学習指導要領の「A表現(3)音楽づくりア、イ、ウ」「共通事項ア 旋律、リズム、音の重なり、拍、フレーズ」との関連を図り、指導を行っていくものである。

この題材では、友達と一緒に遊びながら歌う楽しさや喜びを味わう活動を通して、我が国に伝承されているわらべうたのよさや面白さを体感することをねらいとしている。また、歌うことや音楽遊び、伴奏づくりを通して、わらべうたを音楽として、より身近に感じることができると考える。伴奏づくりでは、与えられた音から伴奏を生み出す面白さに加え、作り上げたものを用いて遊ぶことにより、わらべうた独特の響きを楽しみながら、日本の音楽のよさや美しさをより身近に感じる機会としたい。

本題材で扱う「わらべうた」は、日本の音楽の中でも「子どもの歌」として、古くから親しまれているものである。主として子ども自身の自発的な表現として歌い継がれてきた歌を総称し、一般には遊びなどを通して通時的に伝承されてきたものが多い。ことばは、数を順番に織り込んでいく数え歌やしりとり押韻など「ことば遊び」の形態をとるもの、掛け声的なもの、自然や年中行事を歌いこんだものなどがあり、音楽的にも二音や三音構成で比較的単純なリズムや旋律でできており、なじみやすく、歌いやすい。また、短いフレーズのわらべうたは、遊びの活動を伴うことで、その楽しさやよさを一層実感できるので、低学年には適した教材である。

(2) 児童について

児童は、1学年での学習経験を通して、音楽に親しみを持って活動する楽しさを味わってきた。また、わらべうたには、絵描き歌や手遊び歌などの教材に触れ、親しんできている。

1学期の学習内容「音のたかさのちがいをかんじとろう」では、音の高さに興味・関心を持ち、楽曲全体にわたる気分を感じ取って聴いたり歌ったりする学習に取り組んだ。曲の終わり2小節をつくる旋律遊びをする中で、音楽づくりを楽しんだり、友達のつくった旋律と自分の旋律を聴き比べたりして、音の高低の違いを感じ取る意識も高まってきている。普段の音楽活動では、ロズさんたり、体を音楽に合わせて動かしたりする児童の姿があり、明るく楽しい雰囲気の中で音楽の活動ができる子どもたちである。

しかし、音楽に合わせて音を即興的に選んだり、旋律にあった伴奏をつくったりする学習はまだ不十分である。そこで、本題材では親しみを持ちやすく覚えやすいわらべうたを用いて、旋律にあった音選びをしたり、旋律と伴奏を合わせて演奏したりすることを通して、わらべうたの面白さや音が合う楽しさを体感させたい。

(3) 指導にあたって

低学年の指導にあたり、「主体的な表現の能力を育てる」ことを柱に置き、指導を進めていく。

そこで、第1次では、友達と一緒に表現する喜びや遊び歌の楽しさを味わうことができる「ずいずいずっころぼし」と「あんたがたどこさ」を歌い、拍を感じ取りながら、楽しく遊び、言葉やリズムにも注目させ、掛け合いや反復に気付かせていく。また、わらべうたのさらなる楽しみ方(伴奏を付けるとどうなるか)を見通させながら、次時につなげていく。

第2次では、前時の復習を兼ねて、二人一組になって歌いながら遊ぶことで、わらべうたを体に馴染ませて

いく。本時では、決められた音の中から自分の好きな音を選んで簡単な伴奏づくりをし、その伴奏を繰り返して歌と重ねたり、前奏にしたりしながら、音楽を生み出す力を付けさせ、生み出す面白さやつくって重ねる楽しさを味わわせていきたい。

本校の研究では、「思いや意図をもって生き生きと音楽活動に取り組む児童の育成」として、児童らがかかわり合いながらよりよい表現をつくる活動をめざしている。本題材でも、さまざまな場面で、児童同士のかかわり合いが持てるようにグループ編成などを工夫し、音楽を楽しみながら主体的に表現できるよう基礎的な表現の能力の育成を大切にしながら、指導を進めていきたい。

4 題材の評価規準

音楽への関心・意欲・態度 (関)	音楽表現の創意工夫(創)	音楽表現の技能(技)	鑑賞の能力
①わらべうたに親しみ、歌ったり歌に合わせて遊んだりする学習に楽しんで取り組もうとしている。 ②わらべうたの旋律と伴奏を合わせて演奏したり友達の演奏を聴いたりする学習に意欲を持って取り組んでいる。	①与えられた音で自分なりの伴奏をいろいろと試し、どのような伴奏にするかについて自分の思いをもっている。	①拍の流れを感じ取り、音楽に合わせて体を動かしながら歌っている。 ②与えられた音でわらべうたに合う伴奏をつくっている。	/

5 指導計画と評価規準 全3時間

	ねらい◎ 主な学習活動・	教材	指導事項	共通事項	評価規準
第一次	1 ◎曲を把握し、旋律を覚えて歌ったり、音楽に合わせて遊んだりしながら歌う。 ・音楽を聴いて、わらべうたに親しむ。 ・拍の流れを感じ取って、歌ったり遊んだりする。	ずいずいずっころばし あんたがたどこさ (歌唱)	A表現(1) 歌唱 ア ウ(ア)	旋律 拍 反復	【関】①(行動観察) 【技】①(行動観察・演奏聴取)
第二次	2 ◎わらべうたに合う伴奏をつくって、伴奏だけ演奏したり、伴奏と旋律を重ねたりする。 ・歌に合わせて楽しく遊び、わらべうたに親しむ。 ・歌に合わせて伴奏のリズムをリズム打ちする。 ・伴奏づくりをする。	なべなべそこぬけ (音楽づくり)	A表現(3) 音楽づくり ア(イ)	リズム 旋律 拍	【創】①(発言内容・行動観察) 【技】②(学習シート・演奏聴取)
	3 ◎つくった伴奏に合わせて、わらべうたを演奏し、互いの伴奏を聴きあう。 ・自分の作った伴奏を確認する。 ・全員で伴奏を聴きあい、ともだちの伴奏と歌を合わせたり、伴奏を聴きながら歌ったりする。	なべなべそこぬけ	A表現(3) 音楽づくり ウ(ア)	リズム 旋律 拍	【関】②(発言内容・行動観察) 【技】②(学習シート・演奏聴取)

6 本時の指導

(1) 目標

与えられた音で自分なりの伴奏をいろいろと試し、どのような伴奏にするかについて自分の思いをもって取り組もうとする。【音楽表現の創意工夫】

(2) 研究との関わり

①「音楽を形づくっている要素を知覚・感受させるための手立ての工夫」

①-1 リズムを確かめて三つの音の組み合わせを試させ、音を選んで旋律をつくるよう促す。

①-2 わらべうたの独特な響きに気づけるよう、発問を吟味する。

②「試行錯誤させる音楽活動の展開」

②-1 伴奏づくりの土台となる範唱を楽しみながら、繰り返し聴き取り暗唱させることで、表現活動につなげていく。

②-2 自分との共通点や友達の伴奏のよさに気づくことができるよう、交流し合えるよう場の設定等を工夫する。

(3) 本時の展開

段階	学 習 活 動	指導上の留意点	評価規準
導入 5分	<p>1 歌に合わせて楽しく遊び、わらべうたに親しむ。</p> <p>①「なべなべそこぬけ」の歌遊びをする。</p> <p>②「なべなべそこぬけ」の歌を歌いながら遊ぶ。</p> <p>2 本時の課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> わらべうたにあう ばんそうをつくろう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・拍を感じ取って歌ったり、体を動かしたりして楽しみながら活動できるように声掛けをする。 	
展開 35分	<p>3 「なべなべそこぬけ」の伴奏づくりをする。</p> <p>①教師から伴奏づくりの説明を聞く。</p> <p>②伴奏づくりをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミ、ソ、ラの3つの音から選ぶ。 <p>③つくった旋律を聴き合う。</p> <p>④遊びも加えて「なべなべそこぬけ」を楽しむ。</p> <p>4 学習のまとめをする。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> ◎児童の思いや意図 ・いろいろな音を使ってみたいと思った ・歌に合う感じにしたい </div> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな旋律ができる楽しさを味わわせる。 ・歌・伴奏のグループに分かれるなどして、演奏したり、聴いたりする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ◎児童の思いや意図の共有 ・もりあがるように音があっ ていてすごい ・楽しい感じの音がいい </div>	<p>与えられた音で自分なりの伴奏をいろいろと試し、どのような伴奏にするかについて自分の思いをもっている。</p> <p>【創①発言内容・行動観察】</p> <p>与えられた音でわらべうたに合う伴奏をつくっている。</p> <p>【技②学習シート・演奏聴取】</p>
終末 5分	<p>5 学習のふりかえりをする。</p> <p>6 次時の学習内容を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・感想・自己評価などでふり返りをさせる。 	

